



新潟工場は、1990年、レンタル用ユニットハウスの生産を目的として、新潟県北部の海岸地帯、聖籠町で操業を開始しました。2004年に実施した生産ライン改革において溶接ロボットを導入し、加工費の20%削減を実現しました。また同年に発生した新潟県中越地震の際には、応急仮設住宅の建設に迅速に対応するため、2交代制を導入。全国の社員が結集し、月産1,500棟を超えるユニットハウスを被災者の方々にお届けしました。



2008年1月から、3階建て対応のCOSMO CT-Jの生産を開始しました。3階建てをはじめとした大型物件への強化に向けて、90サイズなど製品バリエーションの強化にも取り組んでいます。今後も、工場一丸となって生産能力の向上と適正在庫管理を推進し、安定した工場運営に努めていきます。



新潟工場 工場長  
前田 英士